

# 技術

## I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領（平成29年3月）に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

| 1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長 |     |                                                             |
|-------------------------------------------------|-----|-------------------------------------------------------------|
| 共通<br>観<br>点                                    | (1) | 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。              |
|                                                 | (2) | ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。              |
| 2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長           |     |                                                             |
| 共通<br>観<br>点                                    | (1) | 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。                      |
|                                                 | (2) | 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。   |
|                                                 | (3) | 主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。                        |
| 教科<br>独<br>自<br>観<br>点                          | (4) | 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決する力を養うことができるよう工夫されているか。           |
|                                                 | (5) | 社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などを考慮し、実践的・体験的な学習に取り組むことができるよう配慮されているか。 |
| 3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長 |     |                                                             |
| 共通<br>観<br>点                                    | (1) | 文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。                              |
|                                                 | (2) | 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。          |
|                                                 | (3) | レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。              |

## II 選定資料利用上の留意点

- 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

### Ⅲ 具体項目

技術

| 観 点                                             |                                                             | 発 行 者 | 東 書                                                                                                     | 教 図                                                                                                      |
|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長 |                                                             |       |                                                                                                         |                                                                                                          |
| (1)                                             | 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。              |       | 各編を「生活や社会を支える技術」「技術による問題解決」「社会の発展と技術」で構成することで、技術によって、よりよい生活や持続可能な社会を構築しようとする態度を養うことができるよう工夫されている。       | 「見つける」→「学ぶ」→「ふり返る」という学習の流れを3ステップで明確にすることで、興味・関心を高め、技術の見方・考え方を養うことができるよう工夫されている。                          |
| (2)                                             | ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。              |       | トマトの品種改良について、南アメリカのアンデス山脈高原地帯に自生していたものが栽培化されてヨーロッパに伝わり、江戸時代に長崎から日本に伝わったことが掲載されている。                      | 巻末の「博物館に行ってみよう」に本県の長崎市科学館が掲載されている。                                                                       |
| 2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長           |                                                             |       |                                                                                                         |                                                                                                          |
| (1)                                             | 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。                      |       | 材料や加工の特性等の原理・法則や基礎的な技術の仕組みについて、本文の内容を裏付ける図などを掲載することで、科学的な思考に基づく知識を習得することができるよう工夫されている。                  | 技能資料を別冊「スキルアシスト」に収載し、加工法の確認や実習中に作業を確認できるようにすることで、基礎的・基本的な技能を習得することができるよう工夫されている。                         |
| (2)                                             | 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。   |       | 各内容の問題解決例では、統一された問題解決の流れを示すことで、自分自身の問題解決への見通しを持って取り組めるようにし、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。            | 巻末に生徒自身の設計や計画を記入できる「設計・計画シート」「計画・育成シート」を付けるとともに、関連した章には記入見本を提示することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。    |
| (3)                                             | 主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。                        |       | 各編に「レッツスタート」や「調べてみよう」等の簡単な問いかけや活動例を示すことで、興味・関心を高め、主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されている。                   | 各編に「見つける」や「やってみよう」として、自ら学ぶ、グループで学ぶ問いかけを示すことで、興味・関心を高め、主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されている。                |
| (4)                                             | 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決する力を養うことができるよう工夫されているか。           |       | 各編に「問題の発見と課題の設定」を配置し、問題発見の例や手だての例を示すことで、生活や社会の問題を見出し、課題を設定することができるよう工夫されている。                            | 各編に「問題を解決する流れを考えよう」を配置し、問題発見からの流れを見開きで示すことで、生活や社会の問題を見出し、課題を設定することができるよう工夫されている。                         |
|                                                 |                                                             |       | 各編の「問題解決の評価、改善・修正」では、評価の観点や問題解決のまとめの例を示すことで、生活や社会の中から見出した課題を解決する力を養うことができるよう工夫されている。                    | 各編の「ステップ4：製作品を活用しよう 他」では、問題解決レポートの例やポイントを分かりやすく示すことで、生活や社会の中から見出した課題を解決する力を養うことができるよう工夫されている。            |
| (5)                                             | 社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などを考慮し、実践的・体験的な学習に取り組むことができるよう配慮されているか。 |       | 各編の問題解決例の「解決策の構想」では、実際の設計・製作例や問題解決のプロセスを多数示すことで、実践的・体験的な学習に取り組むことができるよう配慮されている。                         | 各編の「身近な問題を解決してみよう」では、問題発見からの流れをより具体化して示すことで、実践的・体験的な学習に取り組むことができるよう配慮されている。                              |
|                                                 |                                                             |       | 各編の最後の章では、技術の見方・考え方を働かせることができる「未来のTechnology」を設けることで、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などの視点から考察することができるよう配慮されている。    | 各編の「未来をつくろう」で、技術のプラス面とマイナス面を見極める場を設けることで、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などの視点から考察することができるよう配慮されている。                 |
| 3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長 |                                                             |       |                                                                                                         |                                                                                                          |
| (1)                                             | 文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。                              |       | 各節のタイトルや本文の見出しには、学習内容を明確に示したり、専門用語については側注や脚注などで簡潔な表現で解説を補足したりすることで、学習内容が分かりやすい記述となっている。                 | 簡潔に分かりやすい表現にするとともに、本文の理解を助けるために必要な写真・イラスト・図表などを適切に配置することで、学習内容が分かりやすい記述となっている。                           |
| (2)                                             | 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。          |       | ページの下部に学習内容に関連した「技術の工夫」を掲載したり、キャラクター等の挿絵の吹き出しで、学習を深めるヒントを示したりすることで、学習意欲を高め、より主体的に学習を進めることができるよう配慮されている。 | 各内容の中扉を見開きのページとし、内容に関連の深い写真を大きく配置するとともに、「技ビット」「スゴ技」などの学習内容に関連するコラムを掲載することで、技術への興味・関心を高めることができるよう配慮されている。 |
| (3)                                             | レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。              |       | 内容ごとに色分けしてツメとなる色帯を付けたり、「目標」「学習課題」「まとめ」などを見開きの同じ位置に配置したり、また、本文を左揃えにすることで、検索性を高め、目線を自然に流すことができるよう配慮されている。 | 本文の文字は、全体的にやや大きくするとともに、学習内容の重要語句を青文字にすることで、読みやすく、視認性を高めることができるよう配慮されている。                                 |

| 観点  |                                                             | 発行者                                                                                                       | 開隆堂 |  |
|-----|-------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--|
| 1   | 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長               |                                                                                                           |     |  |
| (1) | 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。              | 各編を「基礎・基本」「問題解決」「技術と私たちの未来」という構成で共通化することで、各段階で見方・考え方を働かせながら問題を解決する能力を高めることができるよう工夫されている。                  |     |  |
| (2) | ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。              | 生物育成の資料として、「国内で生産されている主なイチゴ」に本県の「ゆめのか」が掲載されている。                                                           |     |  |
| 2   | 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長                         |                                                                                                           |     |  |
| (1) | 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。                      | 問題を解決するための基礎となる、工具や機器の使い方、作業の手順などを掲載することで、基礎的・基本的な技能を習得することができるよう工夫されている。                                 |     |  |
| (2) | 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。   | 問題解決の流れを、「問題の発見と課題の設定」「設計・計画」「製作・制作・育成」「評価・改善」で共通化させ、問題解決の手順や考え方を明確に示すことで、問題解決に必要な能力を育成することができるよう工夫されている。 |     |  |
| (3) | 主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。                        | 各編に「学習課題」や「やってみよう」として、学習の目標を達成するための効果的な問いを示すことで、興味・関心を高め、主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されている。              |     |  |
| (4) | 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決する力を養うことができるよう工夫されているか。           | 各編に「問題解決の流れ」を配置し、問題の発見から解決までの流れを見開きで示すことで、生活や社会の問題を見出し、課題を設定することができるよう工夫されている。                            |     |  |
|     |                                                             | 各編の「問題解決の評価・改善」では、「問題解決のふり返りシート」の書き方例を示すことで、生活や社会の中から見出した課題を解決する力を養うことができるよう工夫されている。                      |     |  |
| (5) | 社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などを考慮し、実践的・体験的な学習に取り組むことができるよう配慮されているか。 | 各編の「実習例」では、問題発見から解決の流れを再度示したり、作業のポイントを示したりすることで、実践的・体験的な学習に取り組むことができるよう配慮されている。                           |     |  |
|     |                                                             | 各編末「私たちの未来」では、技術の評価と活用、可能性と課題を考える場を設けることで、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などの視点から考察することができるよう配慮されている。                 |     |  |
| 3   | 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長               |                                                                                                           |     |  |
| (1) | 文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。                              | 各内容とも、本文中の見出しを適宜表記し、要点を押さえた簡潔な文章表現にすることで、学習内容が分かりやすい記述となっている。                                             |     |  |
| (2) | 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。          | 必要な箇所に「安全」「環境」「トレードオフ」などのマークを示したり、各ページの下部に学習内容に関連した「豆知識」を掲載したりすることで、学習意欲や学習効果を高めることができるよう配慮されている。         |     |  |
| (3) | レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。              | 本文は、単語が途中で改行されないようにするとともに、図や写真中に矢印や囲み線等を挿入する際には線を白く縁取ることで、見やすくなるよう配慮されている。                                |     |  |